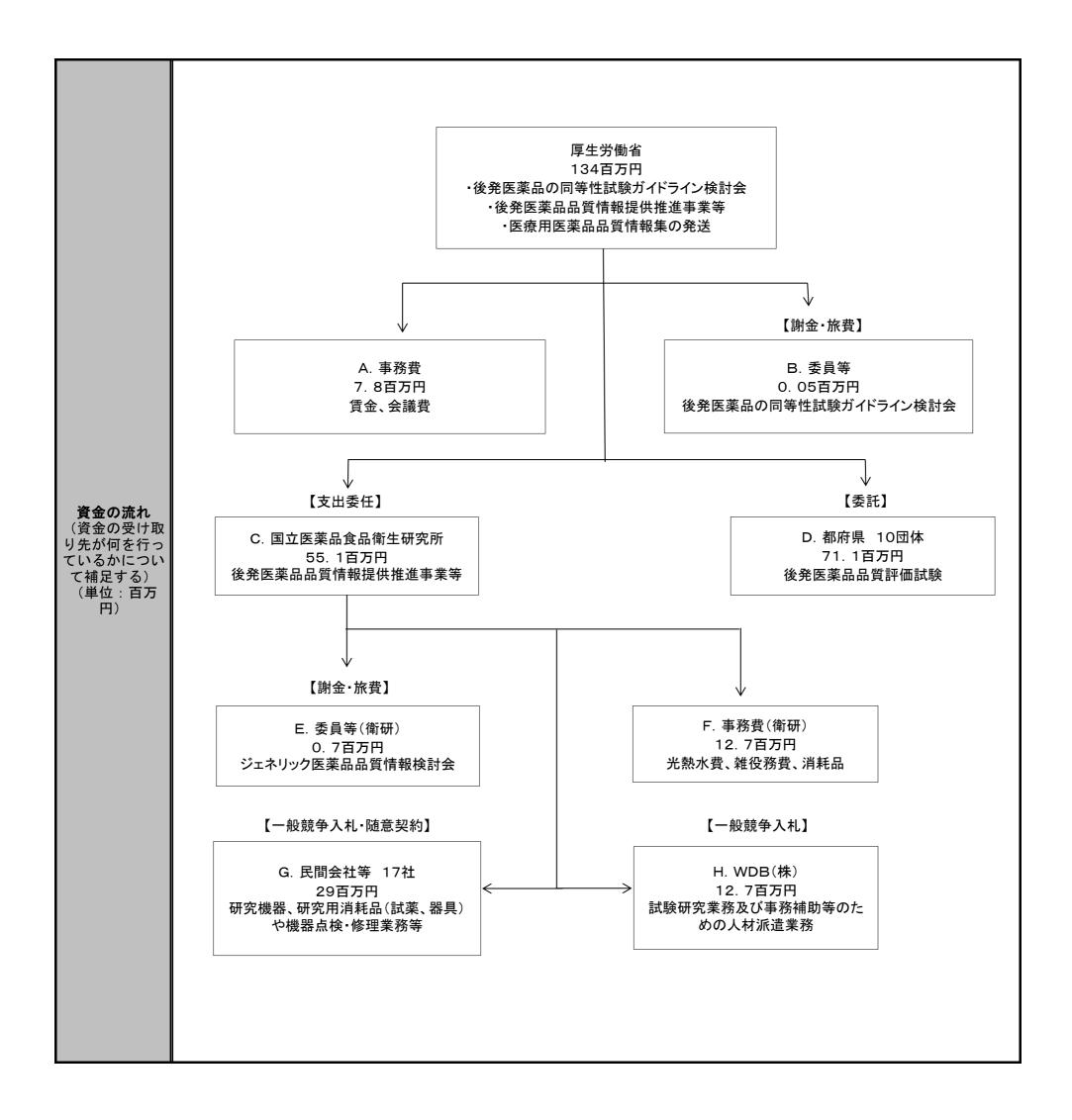
172

						平成25	年行	<b> 丁政事</b>	業レヒ	<u> </u>	ーシート		<u>н</u> (,	厚生	労働	動省)	
	事業名		再	審査・再評	価調	查事業		担当部	吊庁		医	薬食品局			作月	战責任	者
	業開始 • (予定) 年度			平成15	年度			担当	課室		審	査管理課		討	果長	佐藤	岳幸
£	計区分			一般:	会計			政策・	施策名	I —	6-1 有効	性・安全性の	の高い新医薬	品・医	療機器	を迅速に	二提供する
(.	<b>拠法令</b> 具体的な 項も記載)		薬事	法第14条の	4、第	14条の6		関係する通知	る計画、 医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月6日医療イノベー 知等 ション会議策定)							ノベー	
(目:	<b>業の目的</b> 指す姿を簡 3行程度以 内)	·再審查品 ·医薬品の ·GPSPの ·後発医薬	品目、再 の再評値 の遵守な 薬品に関	評価指定品 画について、  状況調査及び 関する試験検	目にて 医療の 再審 査を記	び再評価を着実 ついて、審議会で )実態と薬事法上 査・再評価申請資 実施し、品質の確	調査 の承 資料等 認を	審議を行う 認との整存 の信頼性 行い、結果	とともに 合性を図 確保の を公表	:、GLF  るため ための すること	P査察を実施 の情報収算 GPSP査察 とで後発医	集及び評価 を実施。 薬品の品質	〔に対する				o
(5行		・再評価の ・GPSP基 ・後発医薬 討会を開	のための 基準の選 薬品に 関催し検討	D関連情報(i 遵守状況の調 関して、(独)[	最新知 査及 医薬品 こ、国	品目について審請 印見)の追加的収 び再審査・再評値 品医療機器総合機 立医薬品食品衛 長する。	集及で 西申請 機構の	び専門的記 資料等の 相談窓口	平価(事) 信頼性 に寄せる	前評価 を確保 られた。	)。 するため、( 意見等につ	GPSP査察 いて、国立	₹を実施。 医薬品食₁	品衛生	研究	所にお	いて検 て検討
身	施方法	■直接実	施	■委託・	請負	□補助	I	□負担		交付	口貸付	र्न	コその他				
						22年度		23年度			24年度		25年度		2	6年度	要求
			当初	]予算		154		154			154		154			155	
		予算の状	補正	予算													
予算額 · 執行額		況	繰越	し等													
(単	位:百万円)		į	Ħ		154		154	154		154		154		155		
			執行額	頁		143		135	135		134						
		執行率(%)			93%	88%				87%							
		成果指標					単位	:	22年度	23年)	隻	24年度	F		標値 年度)		
	ネスペー (ウトカ / )	本事業は、医薬品の品質、安全性及び有効性を確保することを目的として、薬事法に基づく再審査等を実施するものであるため、成果について定量的に示すことは困難である。				する	成果実績	_		_	_		_			_	
							達成度	%	$\perp$	_					_		
	II. 155			活動	指標				単位		22年度	23年)	<b></b>	24年度	Ę	25年度	活動見込
	指標及び活動実績 ウトプット)	同	等性試	験ガイドライ	ン検討	付会の開催回数		活動実績(当初見込	件		7	2		1			_
								<b>み</b> )		(	12 )	( 12	) (	6	)	(	6 )
単位当たり コスト		51(千円/回)					算出根拠 検討会開催執行額(51千円)/開催回数(1回)=51千円										
	費	目		25年度当初	予算	26年度要求					Ì	な増減理	±				
平成	諸謝金			1.5		1.7					諸謝金の単	単価見直し	による増額	į			
2 5	職員旅費			0.4		0.4						_					
2	委員等旅費			2.2		2.2		_									
6	庁費			3.5		3.6		人件費の単価見直しによる増額									
年度	医薬品審査	等業務庁	費	74.4		74.6					人件費の単	単価見直し	による増額	Į			
予算内	検定検査事	務等委託	費	72.4		72.4						_					
訳				154 4		154 9	$\dashv$										

事業所管部局による点検								
		項目	評価	評価に関する説明				
国 必費 要投		Dニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	薬事法に基づく再審査、再評価事業については、医薬品の品質、安全性、有効性等を確保するためのものであるため、医薬品の承認を行っている国において実施すべき事業であり、国費の投入が必要である。				
性入	地方自治	体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	再審査、再評価事業については、医薬品の承認を行って いる国において実施すべき事業である。				
	明確な政策なっている	策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と	0	後発医薬品の品質の信頼性の向上を図るものであり、 優先度の高い事業である。				
事業		確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	少額随契を除き、一般競争入札により競争性を確保しており、支出先の選定は妥当である。また、国立医薬品食品衛生研究所は厚生労働省の施設等機関であり、医薬品の品質、安全性、有効性等について研究を行っている唯一の国立機関であり、支出先の選定は妥当である。各都府県の地方衛生研究所についても公立の研究機関であり、国立医薬品食品衛生研究所と連携の下、試験を実施するものであり、支出先の選定は妥当である。				
ו נעצ	受益者との	D負担関係は妥当であるか。	_	_				
率性	単位当たり	リコストの水準は妥当か。	0	妥当な水準であり、コスト削減に努めている。				
	資金の流	れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	0	中間段階での支出は必要最低限のものに限定されており合理的である。				
	費目·使途	************************************	0	費目・使途については、必要な経費に限定して支出している。				
	不用率が	 大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	0	メールの活用による検討などにより会議開催を必要最低				
	事業実施	こ当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果	的 _	限にできたことなどによる。				
業の有		ミコストで実施できているか。 は見込みに見合ったものであるか。	0	会議開催回数の減少については、メールの活用による 検討などにより会議開催を必要最低限にできた結果であ り、活動自体は概ね見込みどおりである。				
効	整備され <i>t</i>		_	_				
性								
		業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。	_					
重		2の具体的な内容を各事業の右に記載)	<u> </u>					
重複排	(役割分担	2の具体的な内容を各事業の右に記載)		_				
重複排除	(役割分担	2の具体的な内容を各事業の右に記載)		_				
重複排除   点検	(役割分担 事業番号 医薬品の	2の具体的な内容を各事業の右に記載)	出先について					
重複排除 点検結	(役割分担 事業番号 医薬品の	登の具体的な内容を各事業の右に記載) 対似事業名 所管府省・部局名 品質、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支	出先について					
重複排除 点検結果	(役割分担 事業番号 医薬品の	翌の具体的な内容を各事業の右に記載) 類似事業名 所管府省・部局名 品質、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支 を必要最低限にすることができたことなどにより執行額を抑制できたもので 外部有識者の所見	出先について					
重複排除 点検結果	(役割分担事業番号 事業番号 医薬品のの 会議開催を	翌の具体的な内容を各事業の右に記載) 類似事業名 所管府省・部局名 品質、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支 を必要最低限にすることができたことなどにより執行額を抑制できたもので 外部有識者の所見	出先について ごあり、引きá					
	(役事業 (役事業 (役事業 (で)	他の具体的な内容を各事業の右に記載) 類似事業名 所管府省・部局名 品質、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支 を必要最低限にすることができたことなどにより執行額を抑制できたもので 外部有識者の所見 検対象外	出先について であり、引きが <b>人の所見</b> <b>食</b> 検査の実施	続き事業内容を精査しながら効率的な執行に努める。				
	(役割分担事業番号 医薬品の会議開催を の点	回具体的な内容を各事業の右に記載)	出先について であり、引きを <b>人の所見</b> 検検査。	徳等に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観				
重複排除 点検結果 部	(役事医会現状通り割業品開催の確認の確認	回具体的な内容を各事業の右に記載) 新似事業名 所管府省・部局名 の関、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支 を必要最低限にすることができたことなどにより執行額を抑制できたもの 外部有識者の所見 検対象外  「一政事業レビュー推進チー本事業は、医薬品の再審査に関するGLP査察、後発医薬品に関する試験点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努める	出先について であり、引きを <b>人の所見</b> 検検査。	徳等に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観				
重複排除 点検結果 部	(役割分担事業番号 医薬品の会議開催を の点	回具体的な内容を各事業の右に記載) 新似事業名 所管府省・部局名 の関、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支 を必要最低限にすることができたことなどにより執行額を抑制できたもの 外部有識者の所見 検対象外  「一政事業レビュー推進チー本事業は、医薬品の再審査に関するGLP査察、後発医薬品に関する試験点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努める	出先について であり、引きを <b>人の所見</b> 検検査。	徳等に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観				
重複排除 点検結果 部	(2) 事医会現状通り現状(2) 事薬議者の催(3) 子の作	回り具体的な内容を各事業の右に記載)	出先について であり、引きを <b>人の所見</b> 検検査。	徳等に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観				
重複排除 点検結果 部	(2) 事医会現状通り現状(2) 事薬議者の催(3) 子の作	回具体的な内容を各事業の右に記載) 新似事業名 所管府省・部局名 の関、安全性、有効性等を確保するための事業であり、事業内容及び支 を必要最低限にすることができたことなどにより執行額を抑制できたもの 外部有識者の所見 検対象外  「一政事業レビュー推進チー本事業は、医薬品の再審査に関するGLP査察、後発医薬品に関する試験点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努める	出先について であり、引きを <b>人の所見</b> 検検査。	徳き事業内容を精査しながら効率的な執行に努める。				
重複排除 点検結果 部	(2) 事医会現状通り現状(2) 事薬議者の催(3) 子の作	回り具体的な内容を各事業の右に記載)	出先について であり、引きを <b>人の所見</b> 検検査。	徳等に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観				
重複排除 点検結果 部	(2) 事医会現状通り現状(2) 事薬議者の催(3) 子の作	回り具体的な内容を各事業の右に記載)	出先について だあり、引き <b>人の所見</b> 検検さ。 <b>こおける反</b>	続き事業内容を精査しながら効率的な執行に努める。 ・				



		A. 非常勤職員			G. 島津サイエンス東日本(株)			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)		
	賃金	非常勤職員給与	4.1	# □ #	研究機器(高速液体クロマトグラフ)の購入	9.4		
				備品費	研究機器(荷電化粒子検出器)の購入	5.7		
				消耗品費	研究機器、研究用消耗品等の購入、修理	5.5		
	計		4.1	計		20.6		
	(	C. 国立医薬品食品衛生研究所		H. WBD(株)				
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		
		試験研究補助業務及び事務補助等のため の人材派遣業務	13.7	雑役務費	試験研究業務及び事務補助等のための人 材派遣業務	12.7		
	雑役務費	研究機器の修理・点検作業、試験研究業務 等	2.5					
費目・使途		会場借料、会議費、複写機保守料	0.4					
(「資金の流れ」に	備品費	研究用機器の購入	15.8					
おいてブロックごとに最大の金額	光熱水費	電気・ガス・水道使用料	11.3					
が支出されている 者について記載	消耗品費	事務用品、研究用具、試薬等の購入	10.7					
する。費目と使途 の双方で実情が	委員等旅費	ジェネリック医薬品品質情報検討会	0.5					
分かるように記載)	諸謝金	ジェネリック医薬品品質情報検討会	0.2					
<del>4,4</del> //	計		55.1	計		12.7		
		D. 富山県						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)		
	消耗品費	試験検査用試薬、器材等の購入	4.4					
	機器保守料	溶出試験機保守点検委託料 液体クロマトグラフ等の点検	1.98					
	賃金	試験検査補助員に対する賃金	0.86					
	計		7.24	計		0		
		F. 東京電力(株)						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)		
	光熱水費	電気使用料	7.8					
	計		7.8	計		0		

## 支出先上位10者リスト A. 事務費

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	非常勤職員給与	4.1		
2	非常勤職員	非常勤職員給与	3.7		
3	(株)ファミリーマート	会議費(お茶代)	0.002	随意契約	

B. 委員等

	女只寸				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	後発医薬品の同等性試験ガイドライン検討会 旅費	0.029		
2	委員B	後発医薬品の同等性試験ガイドライン検討会 謝金	0.011		
3	委員C	後発医薬品の同等性試験ガイドライン検討会 謝金	0.011		

C. 国立医薬品食品衛生研究所

	支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	国立医薬品食品衛生研究所	後発医薬品品質情報提供推進事業等	55.1		

D 都府県

<u> </u>	都府県				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富山県	後発医薬品品質評価試験	7.24		
2	埼玉県	後発医薬品品質評価試験	7.24		
3	東京都	後発医薬品品質評価試験	7.24		
4	神奈川県	後発医薬品品質評価試験	7.24		
5	静岡県	後発医薬品品質評価試験	7.24		
6	京都府	後発医薬品品質評価試験	7.24		
7	大阪府	後発医薬品品質評価試験	7.24		
8	兵庫県	後発医薬品品質評価試験	7.24		
9	福岡県	後発医薬品品質評価試験	7.24		
10	愛知県	後発医薬品品質評価試験	5.92		

E. 委員等(衛研)

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	ジェネリック医薬品品質情報検討会 謝金・旅費	0.13		
2	委員B	ジェネリック医薬品品質情報検討会 謝金・旅費	0.11		
3	委員C	ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ 旅費	0.07		
4	委員D	ジェネリック医薬品品質情報検討会 旅費	0.05		
5	委員E	ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ 謝金・旅費	0.04		
6	委員F	ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ 旅費	0.03		
7	委員G	ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ 旅費	0.03		
8	委員H	ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ 旅費	0.03		
9	委員[	ジェネリック医薬品品質情報検討会 謝金・旅費	0.03		
10	委員J	ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ 旅費	0.02		

F. 事務費(衛研)

	<u>. 争務質(留研<i>)</i> </u>				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
	東京電力(株)	電気使用料	7.8		
2	東京水道局	水道使用料	1.9		
3	東京ガス(株)	ガス使用料	1.6		
4	4 アドバンテック(株)	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	1.0	随意契約	
į	5 (財)全国自治協会	会場借料及び会議費(お茶代)	0.3	随意契約	
(	6 (株)エコ・エイト	廃棄物処理 一式	0.04	随意契約	
-	7 医療法人社団康生会	定期健康診断(派遣職員)	0.01	随意契約	
8	尾崎理化(株)	統計ノートJA4 A4特殊罫 10点	0.005	随意契約	
(	公益社団法人日本薬剤学会	原稿別刷料(電子版) 1式	0.004	随意契約	
10	(有)マルカ食品	会議費(お茶代)	0.003	随意契約	

G. 民間会社等 17社

<u> </u>	戊间云社寺 1/社				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
		研究機器(荷電化粒子検出器 一式)の購入	5.7	3	99
1	島津サイエンス東日本(株)	研究機器、研究用消耗品等の購入、修理	5.5	随意契約	
'	西洋ッイエンへ米ログ (杯)	研究機器(高速液体クロマトグラフ 一式)の購入	4.7	2	99
		研究機器(高速液体クロマトグラフ 一式)の購入	4.7	3	77
2	尾崎理化(株)	研究用消耗品(試薬)等の購入	2.1	随意契約	
3	岩井化学薬品(株)	研究用消耗品(試薬)等の購入	1.6	随意契約	
4	(株)大日本精機	研究用消耗品(器具)等の購入	1.0	随意契約	
5	(株)池田理化	研究機器、研究用消耗品等の購入、修理	0.9	随意契約	
6	日本分光(株)	研究用消耗品(器具)等の購入	0.8	随意契約	
7	(株)伊藤サプライ	研究備品(卓上フード)等の購入	0.7	随意契約	
8	(財)日本食品分析センター	<b>検体測定業務</b>	0.3	随意契約	
9	宮崎化学薬品(株)	研究用消耗品(試薬)等の購入	0.2	随意契約	
10	(株)前田製作所	研究機器の修理	0.1	随意契約	

## H. WBD(株)

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WBD(株)	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	12.7	5	74